

# 「子ども食堂」広めよう

## 市内外の事例 講演会で紹介

### 八戸

子どもの貧困対策として全国で広まる「子ども食堂」をテーマにした講演会が2月26日、八戸市内のホールで開かれた。市民ら約20人が市内外の取り組みについて理解を深め、同市で子ども食堂を広める可能性を考



八戸市で子ども食堂を開催した成果について発表する八戸学院短期大学の学生

えた。

八戸学院短期大学ライフデザイン学科・佐藤千恵子教授のゼミに所属する学生は、期間限定で月2回、市内で開催した子ども食堂の成果について発表した。

学生たちは「ボランティアで手伝いたい、食材の提供をしたいなどの申し出が寄せられ、市民の関心の高さに驚いた」などと感想を述べた。取り組みにより、

子ども食堂を始めたという人の後押しができたのではないかととして、「子ども食堂(の取り組み)を今後もつなげていたくないでしようか」と会場に呼び掛けた。

岩手県盛岡市で子ども食堂を開催するNPO法人「イंकクル

いわて」の山屋理恵理事長は、高齢者施設などを会場に、スタッフだけでなく地域住民、子どもや保護者も食事を作り、学習支援や遊び、相談など多様なプロゲ

ラムを併せて行っていることを紹介。「1カ所に多世代の人が集い支え合う場所を、意識してつくっていくかなければいけない」と訴えた。

(新村菜穂)